

氏名	大 家 昌 源
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3737号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Improvements in the Measurement of Stool Decay -Accelerating Factor in the Detection of Colorectal Cancer (大腸癌発見のための便中Decay-Accelerating Factor測定法の 改良について)
論文審査委員	教授 小出典男 教授 田中紀章 教授 保田立二

学位論文内容の要旨

我々は以前、便中の decay-accelerating factor (DAF) 測定のための ELISA を開発し、便中 DAF 測定が大腸癌発見のために有用である可能性があることを示した。我々は便中 DAF の測定系を改良するために、便処理における遠心分離と界面活性剤の効果、ELISA で抗 DAF モノクローナル抗体のみを使用した場合の最適なモノクローナル抗体の組み合わせ、の各項目について検討した。結果は、便処理では高速の遠心分離は必要ではなく、食物残渣を取り除くための簡便な遠心分離のみで充分である事、また octyl β -glucoside と sodium deoxycholate の 2 種類の界面活性剤を便処理に使用したが、便中 DAF 値には影響されない事が判明した。また 4F11 と 1C6 の 2 種類のマウス抗 DAF モノクローナル抗体を ELISA に使用したことによってより安定した便中 DAF の測定が行える様になった。

これらの結果によって大腸癌発見のための便中 DAF 測定が簡便で、安定して行われ、今後ルーチン検査として行える様になることが期待される。

論文審査結果の要旨

本研究は大腸癌発見のための便中 decay-accelerating factor(DAF)測定系の改良について研究したものであるが、モノクローナル抗体を用いた新しい測定系の開発と便サンプルの前処理について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。